

今自も 青春

長い年月の 知り多しは いい
 来てくれていゝハルハルも
 長い間 何くんと せんどう きて見えてくれ
 ていゝ
 他人たふくと その年月に おどろく
 一番長いのは 十一年
 流か八年 一して六年 とつづいていゝ
 ハルハルに 9紅事は 決して長のも
 はかりで長い

どの紅事も マイナ又直はする
 私だつてら 一白でやめてしろう
 かもしれるん
 若い時のソバドレ 半目でやめてしろう天
 やりることの名人 かもしれぬ
 私と同いふうに 一度で来守く 原つて人
 もいゝ
 フブヤよ かりの原因は 紅石の
 やつてふゝの びろと かもしねる
 フとせいで 自命の昔をふりかえつてふ

任事も おとしろかつた本

由居紋 本一トニ並しに行く

→ 一々しを返すつる

仲河といふの分 此れのしかつた

何をしても 此れのいは 音音 与りた

年をかたわて来た 現在

今更つて音音 与りたのいい

年合に因係存小

日ん 音音 与り 此れのいいかまつていいる

今日も 音音

2024
6/12